
淀川水系神崎川河川改修事業の事業評価について

淀川水系神崎川河川改修事業の事業評価に対する
主な意見と回答について（府民意見募集結果）

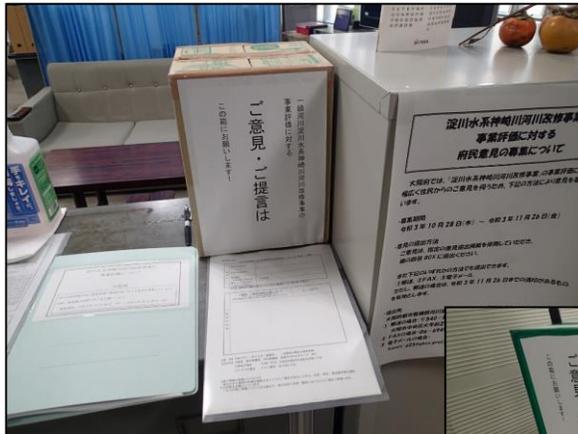
淀川水系神崎川河川改修事業の事業評価に対する府民意見募集について

【図書縦覧】

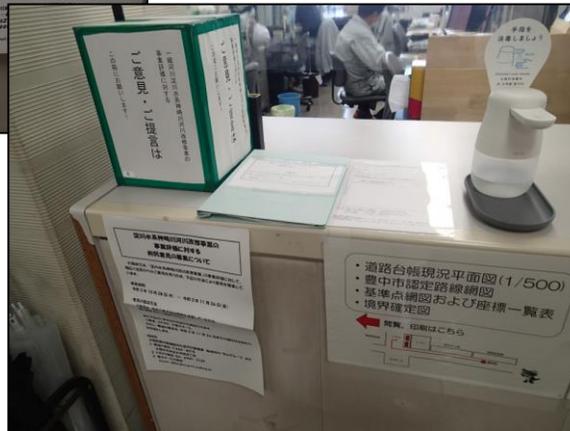
➤ 意見募集期間: 令和3年10月28日(木)から令和3年11月26日(金)まで

縦覧図書

- 第1回 河川整備審議会資料(R3.10.25)
 - ・河川改修事業の再々評価調書
 - ・淀川水系神崎川河川改修事業の事業評価について



西大阪治水事務所 神崎川出張所



豊中市役所

縦覧場所

- 以下の13箇所
 - ・大阪府府政情報センター、大阪府都市整備部河川室
 - ・池田土木事務所、茨木土木事務所、西大阪治水事務所、西大阪治水事務所 神崎川出張所、大阪市建設局
 - ・大阪市西淀川区役所、大阪市淀川区役所、大阪市東淀川区役所、豊中市役所、吹田市役所、摂津市役所



淀川水系神崎川河川改修事業の事業評価に対する府民意見募集について

【幅広い意見募集】

➤ 意見募集期間: 令和3年10月28日(木)から令和3年11月26日(金)まで

【ホームページ掲載】

大阪府(河川室)

淀川水系神崎川河川改修事業の事業評価に対する府民意見募集について

大阪府では、建設事業の効率性及び実施過程の透明性の向上を図ることを目的として、建設事業の実施や継続の可否を判断する建設事業評価を実施しています。このうち、河川事業・ダム事業において一定の要件を満たす事前評価及び再評価にあたっては、学識経験者等で構成される「大阪府河川整備審議会」の意見を聴き、その意見を尊重して対応方針を決定します。同審議会においては、透明性の一層の向上のため、このたび、淀川水系神崎川河川改修事業の事業評価について、府民の皆様のご意見を募集します。なお、ご意見については、下記要領に従い提出をお願いします。

対象事業名

淀川水系神崎川の河川改修事業について

1. 募集対象項目

淀川水系神崎川河川改修事業の事業評価

[淀川水系神崎川河川改修事業の再々評価調査 \[Wordファイル/52KB\]](#)

[淀川水系神崎川河川改修事業の再々評価調査 \[PDFファイル/378KB\]](#)

[淀川水系神崎川河川改修事業の事業評価について \[PDFファイル/7.89MB\]](#)

2. 募集期間

令和3年10月28日木曜日 9時00分 から 令和3年11月26日金曜日 24時00分
(募集期間内に必着のこと。)

関係市

(摂津市)

(吹田市)

(豊中市)

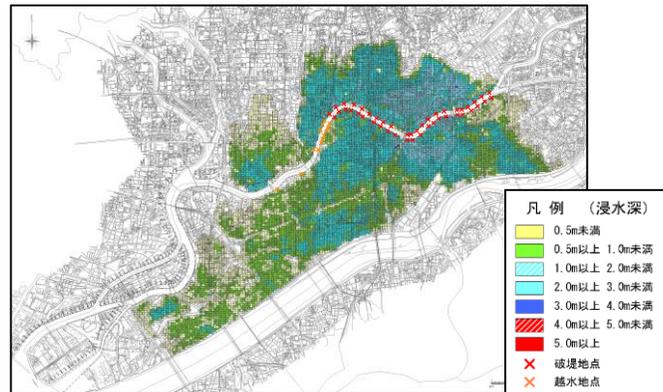
(淀川区)

(東淀川区)



【住民への聞き取り】

- 試行的に、流域の地元自治会に対して本事業に関する聞き取りを実施した。
- 神崎川に接している自治会約40地域（豊中市、吹田市、東淀川区、淀川区、西淀川区）のうち各市・区内で浸水深が大きい5地域にヒアリングを実施し、2地域からご意見をいただいた(2通2件)。



淀川水系神崎川河川改修事業の事業評価に対する府民意見募集について

【幅広い意見募集】

- 意見募集期間: 令和3年10月28日(木)から令和3年11月26日(金)まで
- 府民の皆様から幅広くご意見を募集するため、「大阪府公式Twitter」や「淀川区公式Twitter」、「東淀川区公式Twitter」からも意見募集の案内を広報。

「大阪府公式Twitter」からの意見募集の広報



摂津市から大阪市へ流れる神崎川と、高石市を流れる芦田川で、安全な川にするための工事をしていってるねん！どんな川にしたいか、みんなの意見を聞かせてな♪
○神崎川はこちら pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/kei...
○芦田川はこちら pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/kei...
#土木もずやん #インフラへの理解促進 #意見募集



©2014 大阪府もずやん

いいね！ 131件※2021 11/30現在
※大阪府公式Twitterへのコメントは3通
(ただし、事業評価に関する意見は0通)

「淀川区および東淀川区公式Twitter」からの意見募集の広報



【広報担当です】
本日より11月26日(金)まで、「淀川水系神崎川河川改修事業」の事業評価に対する府民意見募集を行っています。内容はホームページで確認できるほか、淀川区役所等でも閲覧もできます。郵送、FAX、ホームページで提出できます。#河川 #淀川 #神崎川



11月26日(金)まで「淀川水系神崎川河川改修事業」の事業評価に対する府民意見募集を実施中です。内容は下記大阪府HPのほか、東淀川区役所等で閲覧できます。意見書は意見箱に投函のほか郵送、FAX、HPで提出できます。#河川 #淀川 #神崎川
<https://www.pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/keikaku/kanzaki.html>



いいね！ 4件
※淀川区公式Twitterへのコメントは0通

いいね！ 1件
※東淀川区公式Twitterへのコメントは0通

※2021 11/30現在

府民意見募集結果の概要

いただいたご意見の総数は、9通

項目	件数
1. 治水対策	3件
2. 事業進捗の見込み	3件
3. 河川防災情報	2件
4. その他	5件※1
【合計】	<u>13件</u> ※2

※1 5件のうち、1件は「公表を希望しない」と回答

※2 意見書に複数意見が書かれたものをそれぞれ1件として算定

淀川水系神崎川河川改修事業の事業評価に対する府民意見募集について

1. 治水対策に関するもの 1/2

※下線部:ご意見の中でキーワードとなる表現を事務局にて抽出

いただいたご意見(3件)

①近年、毎年のように全国各地で、豪雨による大きな浸水被害が発生しています。平成30年7月洪水では、北摂地域においても大雨が発生し、安威川(神崎川の支川)の河川施設で損傷が生じたと聞いています。

国や气象台でも『気候変動の影響』について、繰り返し説明されているので、梅雨や台風の時期など、大雨が予測される時は心配になります。

②当地区(豊中市)は神崎川北岸に位置し、近年、大型台風や豪雨時には水量が多くなり、堤防上限近くまで水面が上がってくるのが、度々確認されています。

特に神崎川の堤防は低いことに加え、阪急神戸線鉄橋が低いため、大型台風や豪雨により水かさが増え、上流からの流木・ゴミ等が鉄橋や橋桁にせき止められることで、越水が起こりうるものが容易に考えられます。

よって河川改修事業、治水安全向上は必要不可欠と思われます。

←地元自治会からのご意見

③私は神崎川付近に住んでおり、ハザードマップを見ると浸水しています。

平成30年9月の台風21号時、阪急神戸線鉄橋下面まで浸かったようですが、堤防からの浸水漏水は、大丈夫でしょうか？予想もつかない天候変動が、近年起きていますので、万全の対策を考えてもらいたいです。

1. 治水対策に関するもの 2/2

いただいたご意見に対する
事業者の回答(案)

【気候変動への対応について】→意見①③

- 地球温暖化に伴う気候変動の影響等によって、施設の能力を大幅に上回る外力(災害の原因となる豪雨、洪水、高潮等の自然現象)により、水災害が発生する懸念が高まっています。このため、今後、国土交通省の「気候変動を踏まえた水災害対策のあり方について【答申】R2.7※¹」を踏まえ、引き続きハード整備を推進し、併せてソフト対策を行っていきます。
- 神崎川では、時間雨量65ミリ程度(概ね40年に一度)の降雨による洪水での床上浸水を防ぐことを当面の治水目標として河川改修事業を実施しています。
- 治水施設の整備水準を超える津波や高潮・洪水などに対しては、人命を守ることを最優先に、「防ぐ」施策を着実にすすめつつ、「逃げる」、「凌ぐ」※²施策の強化により対応します。なお、「逃げる」施策の推進にあたり、緊急時の河川防災情報の提供など、ソフト対策の充実を図っています。
- 大阪府では府民の避難行動支援のため、地域の特性を踏まえた洪水リスクの周知※³や河川カメラ等によるリアルタイムの情報発信を行っていますので、市・区役所の避難情報などと併せ、避難行動に役立ててください。

※1: 気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会

https://www.milt.go.jp/river/shinngikai_blog/shaseishin/kasenbunkakai/shouuinkai/kikouhendou_suigai/index.html

※2: 「凌ぐ」施策として、安威川・神崎川流域ではため池の治水活用により流出抑制を図っております(淀川水系神崎川ブロック河川整備計画)。

<https://www.pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/keikaku/yodokihonseibi.html>

※3: 大阪府 洪水浸水想定区域図

<http://www.pref.Osaka.lg.jp/kasenseibi/keikaku/kozuishinso.html>

【堤防高の設定・点検、阪急神戸線について】→意見②③

- 堤防高等の河道断面の設定にあたっては、洪水時の波浪、うねり、跳水等の一時的な水位上昇や、流木等落下物への対応のために、余裕の高さを設けるなど必要な高さを確保しています。また、堤防の状態を把握するため、国が示す要領に基づいて堤防の点検を実施しています。
- 一方、橋梁については大雨時等に鉄扉の閉鎖を行っており、特に阪急神戸線に関しては、他橋梁と比較して桁下が低いことから、架替えに向けて関係機関協議を進めていきます。

淀川水系神崎川河川改修事業の事業評価に対する府民意見募集について

事業内容

- 神崎川は、時間雨量65ミリ程度の降雨による洪水での床上浸水を防ぐことを当面の治水目標として河川改修事業を実施しています。

令和3年度第1回
河川整備審議会
資料より抜粋

河川名	整備対象区間	延長	整備内容
神崎川	河口～新三国橋下流	約9.8km	時間雨量65ミリ程度の降雨による洪水で床上浸水を防ぐことを目標とし河床掘削を行います。河床掘削に伴い、橋脚の補強が必要とされる橋梁については、照査を行い対策を講じます。河床掘削に伴い、環境基準を超過するダイオキシン類などが確認された場合には、適宜処理方法を検討し対処します。



整備対象区間平面図（猪名川合流地点下流側）

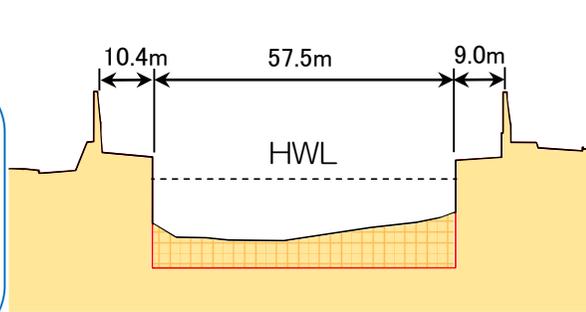


整備対象区間平面図（猪名川合流地点上流側）

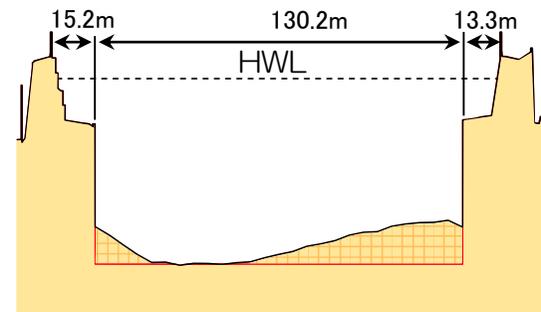
計画対象期間

神崎川下流ブロック（河口～猪名川合流部）
計画策定（H27年）から概ね30年

神崎川ブロック（猪名川合流部～新三国橋）
計画改定（H30年）から概ね30年



整備断面例（1.4km付近、No.14地点）



整備断面例（9.6km付近、No.96地点）

凡例

- 現況断面
- 計画断面
- - - HWL
- ▨ 河床掘削等

淀川水系神崎川河川改修事業の事業評価に対する府民意見募集について

2. 事業進捗の見込みに関するもの 1/2

※下線部:ご意見の中でキーワードとなる表現を事務局にて抽出

いただいたご意見(3件)

- ①全国で毎年のように起こる自然災害を見ると、河川事業の必要性を改めて感じており、大阪府でも改修を着実に進めていって欲しいです。特に、神崎川の近くには働いている会社があるので、早く安全な川になって欲しいです。
- ②今回の資料を拝見しますと、河川改修の進捗率は41%とのことで、前回時点より大きく進んでいるのだと思いますが、完成予定はまだまだ先になるようです。年々、雨の降り方がひどくなっているように思うこともあり、一日でも早く治水対策を完成させていただくよう強くお願いしたいです。
- ③神崎川河川整備計画は、河口から神崎大橋まで(H27から約30年)と、その上流から新三国橋まで(H30から約30年)を予定しており、治水安全確保の為に重要な事業でしょう。今回の再々評価では、進捗率41%との事。300億円で30年の計画であることから、この先大きな災害も予見され、コストを意識したスピーディーな進行が望まれるでしょう。

2. 事業進捗の見込みに関するもの 2/2

いただいたご意見に対する
事業者の回答(案)

【早期完成に向けた整備について】→意見①②③

- 神崎川は、時間雨量65ミリ程度の降雨による洪水での床上浸水を防ぐことを当面の治水目標として河川改修事業を実施しています。
- 現在、整備対象区間全体で約97万m³を掘削するうち、約60万m³の掘削が完了しています。今後は、護岸補強を含む、残掘削を進めていきます。
- 淀川水系神崎川下流ブロック河川整備計画(H27年2月策定)及び淀川水系神崎川ブロック河川整備計画(H30年7月改定)、大阪府都市整備中期計画(R3年3月策定)に位置付けて、事業を進めており、令和2年度末で、事業の進捗率は41%です。今後も、大阪府の限られた予算の中においても、早期に当面の治水目標が達成できるよう、新技術の活用によりコスト縮減を図るなど、事業の進捗に努めます。
- 加えて、改修が完了するまでの間は、「逃げる」、「凌ぐ」施策の強化により対応します。なお、「逃げる」施策の推進にあたり、緊急時の河川防災情報の提供など、ソフト対策の充実を図っています。

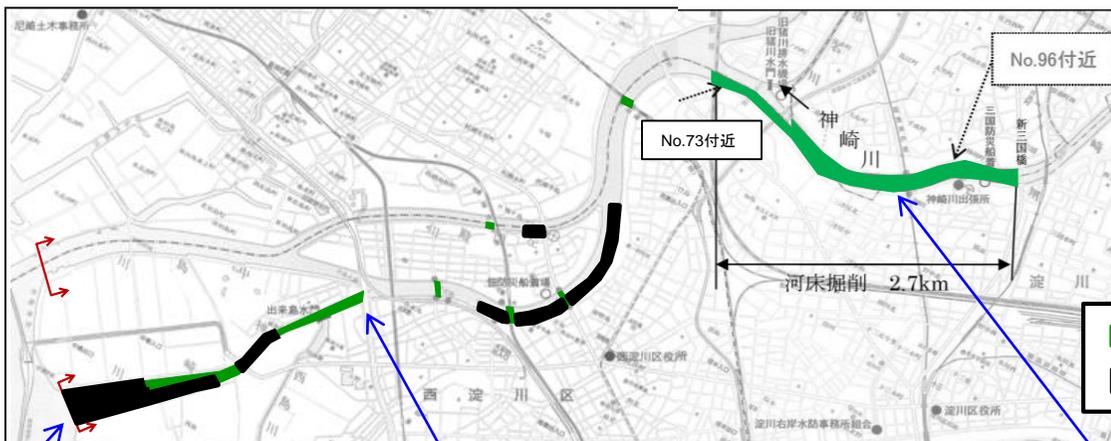
淀川水系神崎川河川改修事業の事業評価に対する府民意見募集について

令和3年度第1回
河川整備審議会
資料より抜粋

事業の進捗状況

- 河口～猪名川合流点までの区間で掘削を実施。
- 整備対象区間全体で約97万m³を掘削するうち、これまで約60万m³を掘削済み。残掘削土量は約37万m³。

河川名	整備対象区間	整備延長	進捗状況
神崎川	河口～新三国橋下流	約9.8km	掘削済み：約60万m ³ 残掘削：約37万m ³



改修済み箇所(掘削時の状況)



神崎川(河口付近)

今後の改修予定箇所(河床掘削実施予定箇所)



神崎川(中島川分流地点下流付近)



神崎川(神洲橋下流付近)

3. 河川防災情報に関するもの 1/2

※下線部:ご意見の中でキーワードとなる表現を事務局にて抽出

いただいたご意見(2件)

- ①神崎川の改修が進み進捗率が上がれば、浸水被害も軽減していくものと思います。
一方、全国的にもこれまでに無いような雨の降り方になっていますので、今後、計画を上回るような降雨により、現状の整備レベルを超えるような洪水に見舞われた際の対応についても検討していく必要があると思います。神崎川の沿川や流域に住まわれる方がきちんと避難でき、命を守れるような取組の充実もお願いいたします。
- ②淀川区の浸水想定では淀川決壊を想定しており、広域避難所も小学校や中学校ですが、神崎川も同時に決壊した際には、北から水が攻めてくる方向に住民等は避難する事になりかねません。しかし、東に逃げようにも吹田に近い御旅町付近でも決壊するとそちら側から水は下ってきます。もちろん、自然災害は起きてみないとどうなるかは言えませんが、淀川区役所は海拔0メートル地点に位置することは事実で、周辺から水は集まってきます。最寄りの消防所の浸水想定は7メートルで、四階の建物の三階まで水没する想定になります。区役所の主な部局は全て三階までにあるので気になっています。

3. 河川防災情報に関するもの 2/2

いただいたご意見に対する
事業者の回答(案)

【整備レベルを超える降雨に対するソフト施策・地元自治体との連携について】→意見①②

➤ 大阪府では、想定最大規模降雨による浸水想定を作成・公表しており、これを踏まえ府民の皆様が河川防災情報を活用し、的確に避難行動を取れるよう、大阪府ではさまざまなソフト対策に取り組んでいます。

➤ 神崎川では「広域タイムライン※¹（防災行動計画）」として『神崎川流域洪水タイムライン』を令和3年9月に策定しました※²。また、地元自治体と連携してワークショップ等を実施し、住民が災害時に適切に行動してもらうため、事前にとるべき行動を時系列に整理する「コミュニティ(地域)タイムライン※³」の作成支援を進めています。

※¹: 広域タイムライン: 比較的大きな流域を対象とし、大阪府や市町村、国に加え、報道機関、ライフライン事業者、鉄道事業者など多くの防災機関の防災行動を記載し、主に国や大阪府が主体となり作成する流域タイムライン

※²: おおさかタイムライン防災プロジェクトHP

<https://www.pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/osakatimelineproject/index.html>

※³: コミュニティ(地域)タイムライン: 自治会や小学校区など小さな区域を対象とし、住民や自主防災組織などの防災行動を記載し、主に市町村と地域や住民と一緒に作成する地域のタイムライン

➤ また、ホームページ「大阪府河川カメラ※⁴」より、大阪府管理河川の主な地点における河川の増水状況などがリアルタイムで確認できるカメラ画像情報を提供しています。神崎川では、三国地点等において河川カメラを設置しており、河川状況がホームページから確認できます。

➤ さらに、ホームページ「おおさか防災ネット※⁵」より、河川の氾濫や浸水に対して、流域関係市町のリスクや避難情報とともに、リアルタイムの雨量・水位情報等を提供しています。

※⁴: 大阪府河川カメラHP

<http://www.osaka-pref-rivercam.info/>

※⁵: おおさか防災ネットHP

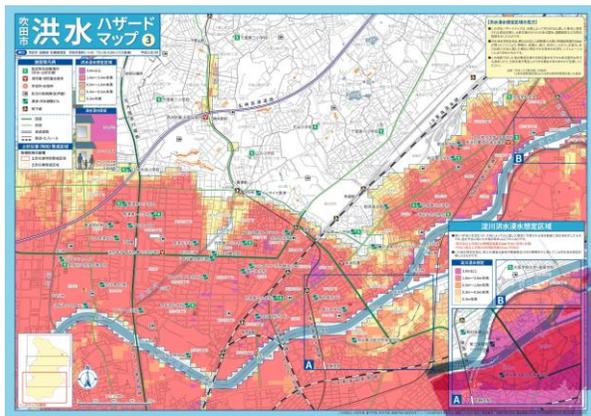
<http://www.osaka-bousai.net/pref/index.html>

河川防災情報の提供

- 自助・共助・公助が一体となったコミュニティを形成し、市民、事業者、行政の連携による洪水等の災害リスク低減対策の推進と災害時の円滑な避難、防災基盤の強化やハザードマップの整備等により、流域住民にとって安全な暮らしを実現し、活力あるまちづくりをめざす。



河川出前講座



洪水ハザードマップ（吹田市）

■神崎川流域洪水タイムライン

台風等による影響で、神崎川流域に記録的な大雨とそれに伴う浸水被害が想定される場合に「神崎川流域洪水タイムライン」を発動します。タイムラインの各ステージの移行は、トリガーとなる情報が発表された際に判断します。

警戒レベル	ステージ (目安の時間)	国・府	流域市	消防・警察	ライフライン事業者	運輸事業者	
レベル1	ステージ1 (-36h~)	大阪府気象台において「台風説明会」が開催されたとき もしくは「台風説明会」の資料をメール等で受け取ったとき					
	ステージ2 (-24h~)	流域3市いずれかで「強風注意報」が発表されたとき	自市において「強風注意報」が発表されたとき	管轄の市において「強風注意報」が発表されたとき	流域3市いずれかで「強風注意報」が発表されたとき	沿線市のいずれかで「強風注意報」が発表されたとき	
レベル2	ステージ3 (-12h)	流域3市いずれかで「大雨(浸水害)」「洪水」注意報のうちいずれかが発表されたとき	自市において「大雨(浸水害)」「洪水」注意報のうちいずれかが発表されたとき	管轄の市において「大雨(浸水害)」「洪水」注意報のうちいずれかが発表されたとき	流域3市いずれかで「大雨(浸水害)」「洪水」注意報のうちいずれかが発表されたとき	沿線市のいずれかで「大雨(浸水害)」「洪水」注意報のうちいずれかが発表されたとき	
レベル3相当	ステージ4	-6h~	流域3市いずれかで「大雨(浸水害)」「洪水」「暴風」警報のうち一つでも発表されたとき	自市において「大雨(浸水害)」「洪水」「暴風」警報のうち一つでも発表されたとき	管轄の市において「大雨(浸水害)」「洪水」「暴風」警報のうち一つでも発表されたとき	流域3市いずれかで「大雨(浸水害)」「洪水」「暴風」警報のうち一つでも発表されたとき	沿線市のいずれかで「大雨(浸水害)」「洪水」「暴風」警報のうち一つでも発表されたとき
		-2h~	神崎川(三国)水位が氾濫注意水位(OP+3.80m)に到達				
		-1.5h~	神崎川(三国)水位が避難判断水位(OP+4.85m)に到達				
レベル4相当	-1h~	神崎川(三国)水位が氾濫危険水位(OP+5.00m)に到達					
レベル5相当	ステージ5 (0h~)	流域のいずれかで氾濫が発生したとき					

神崎川流域洪水タイムライン（各ステージ移行の判断）

淀川水系神崎川河川改修事業の事業評価に対する府民意見募集について

令和3年度第1回
河川整備審議会資料より抜粋

河川防災情報の提供

- 大阪府では、河川の氾濫や浸水に対して、流域関係市町と連携し、府民が的確に避難行動を取れるよう河川カメラやリアルタイム雨量・水位情報を提供しています。
- 神崎川では、事業未完了区間において河川カメラを設置し、洪水時の監視を行っています。

緊急情報、避難指示、地震津波情報などを提供しています。

おおさか防災ネット

<http://www-cds.osaka-bousai.net/pref/index.html>

川の防災情報

雨雲の動きや全国の川の水位などの情報を携帯電話で入手できます。

<http://i.river.go.jp/>
直接アクセスしてください



大阪府河川情報

身近な河川の水位や雨量の情報を携帯電話で入手できます。

<http://www.osaka-bousai.net/pref/>
直接アクセスしてください



防災情報メール

地域に発令された警報・注意報、避難勧告など、防災情報をメールで携帯にお知らせします。

touroku@osaka-bousai.net



大阪府河川カメラ

<http://www.osaka-pref-rivercam.info/>

西大阪治水事務所 神崎川 三国
大阪府淀川区新高5丁目

現在水位	堤防までの 余裕水位	水源地特報水位 (警戒水位)	はん濫注意水位 (警戒水位)	避難判断水位 (特別警戒水位)	はん濫危険水位 (危険水位)	洪水総警報 (O.P.-0m)
1.410	5.407	3.000	3.800	4.850	5.000	6.000

■水位一覧表

日付	7% 10:00	7% 10:30	7% 11:00	7% 11:30	7% 12:00	7% 12:30	7% 13:00	7% 13:30
水位(m)	1.340	1.300	1.280	1.260	1.240	1.210	1.200	1.190
水位(O.P.-0m)	1.340	1.300	1.280	1.260	1.240	1.210	1.200	1.190
水位変化(m)	-0.040	-0.040	-0.020	-0.020	-0.020	-0.030	-0.010	-0.010

大阪府都市整備部河川室 河川防災情報
<http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/index.html>

4. その他 1/3

※下線部:ご意見の中でキーワードとなる表現を事務局にて抽出

いただいたご意見(4件)

①新淀川は作られた「水路」であるため、南海大地震の津波が生じて、そんなに心配はしていません(阪急の橋脚の低いところは少し心配です)。

神崎川は堤防は土盛りのままの箇所も多いですが、三国周辺では大規模集合住宅の外構の擁壁やスーパー堤防化の指導(建設省の指導)である程度は頑丈になったかもしれません。しかし御旅町の箇所や戸の内北の護岸は無きに等しく、津波で決壊するかもしれません。

また、大雨時には、神崎川はすぐに警報出ることと堤防も5メートル程度の「土盛り」であることを考えますと、河川改修(拡幅)と堤防の更なる補強は急務であると思います。

淀川と東淀川、西淀川あわせて、おそらく30万人以上が被災する事を考えますと、大切な事かと思えます。

②本事業のさらに上流に大問題な事案があります。新三国橋より上流の天竺川との合流点、高川との合流点において大量の土砂が堆積しています。また、榎木橋から下流の大阪市側の約200mにわたり、ヘドロが存在するという事実です。つまり、新三国橋から榎木橋まで(おそらくさらに上流まで)、極度に浅くなっているのです。

平時の潮の満ち引きでは問題ないが、異常な豪雨や台風などによる洪水が発生した場合、土砂が大量に下流(神崎川ブロック計画側)へ流れるということです。これを放置する事は市民の安心安全を守ることにならないと考察されます。

③神崎川の水質が良くなっている様で、取り組みに感謝している。引き続き水質の向上を目指し、頑張っていたきたい。

④評価調書について、1つ1つの項目だけでなく、全体的な評価も書き足して欲しい。
B/Cを使った評価について、もう少しわかりやすく、どういう評価になっているのかを府民が納得・理解できるように表示してほしい。

4. その他 2/3

いただいたご意見に対する
事業者の回答(案)

【堤防の地震・津波対策、河川改修について】→意見①

- 南海トラフ巨大地震等の地震・津波対策として、東日本大震災を契機とした「河川構造物の耐震性能照査指針」に基づく照査を行い対策を実施しています。神崎川の堤防については、平成30年度までに地震・津波対策として完了しています。
- 神崎川の河川改修(河道拡幅)としては、時間雨量65ミリ程度の降雨による洪水での床上浸水を防ぐことを当面の治水目標として、河床掘削を実施しています。

【土砂の維持管理について】→意見②

- 河川に堆積する土砂の対策については、河川断面などの測量や調査を行うとともに、毎年河川巡視点検等により現地調査を行い、河川ごとに川底の堆積や低下などの傾向を確認のうえ、氾濫時の影響などを踏まえ、計画的に対策を実施しています。ご指摘の箇所について、近年の調査結果では堆積していますが、当面の治水目標で必要な流水断面は確保しています。

【水質について】→意見③

- これまで、環境部局や流域市町との連携した取組みにより、神崎川の水質は40年前と比較すると大きく改善し、BODは環境基準値以下となっています。
- 多様な生物の生息・生育・繁殖環境を保全するため、河川への生活排水等の流入の削減に努めるほか、流域市町においても、行政指導や下水道接続の促進に取り組んでいます。今後も、引き続き流域住民や下水道部局、農林部局等と連携し、良好な水質の維持に向けた環境学習、啓発活動等を進めます。

4. その他 3/3

いただいたご意見に対する
事業者の回答(案)

【事業評価の資料について】→意見④

- 今回の神崎川の事業再々評価においては、「大阪府建設事業評価実施要綱」に従い、事業継続の妥当性に関する対応方針(案)について外部評価者からなる大阪府河川整備審議会にて、ご審議いただいています。
- 今後も、河川整備に係る建設事業評価について、大阪府HP等を通じて広く皆様へご理解いただけるよう、他事業の事例も参考に、資料作成や周知について工夫していきます。

淀川水系神崎川河川改修事業の事業評価に対する府民意見募集について

令和3年度第1回
河川整備審議会
資料より抜粋

自然環境等への影響とその対策

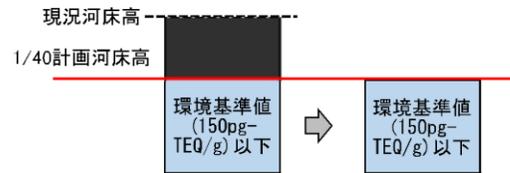
- 神崎川では、猪名川合流点上流の広範囲において底質表層のダイオキシン類の環境基準(150pg-TEQ/g)超過が確認されています。今後、河床掘削の実施により新たに環境基準を超えた低質が露出することが確認された場合には、「大阪府河川及び港湾の底質浄化審議会」の検討を踏まえ、浄化対策を実施します。(整備対象区間)
- 掘削時等における河川環境への配慮や、河川・流域内での様々な取組みにより、神崎川の水質は40年前と比較すると大きく改善し、BODは環境基準値以下となっています。



整備対象区間の対策方針

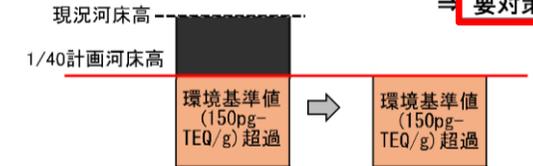
パターン① 河床掘削後、表層に環境基準値以下の層が現れる

⇒ 対策不要

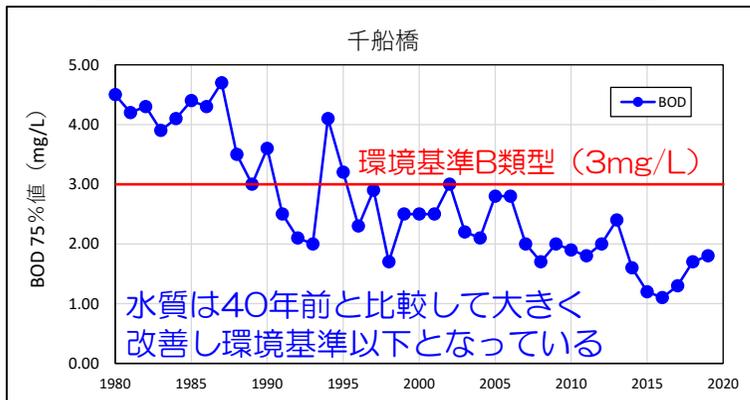


パターン② 河床掘削後、表層に環境基準値超過の層が現れる

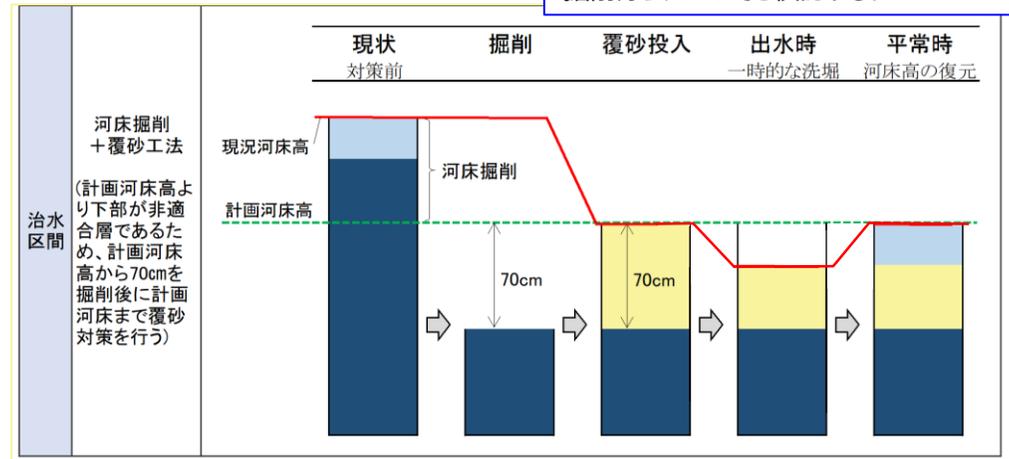
⇒ 要対策



計画河床高以下70cmまで掘削して覆砂を行う。環境基準超過の層厚が2m程度である場合は、掘削除去についても検討する。



BODの経年変化



河床掘削・覆砂対策のイメージ図

対応方針(案)

事業の必要性等

- 現時点で再度、神崎川の費用対効果を算出したところ、B/Cは8.6であり、事業実施の妥当性を有する投資効果が確認できる。
- また、高齢化の進展並びに気候変動など新たに社会情勢が変化する中においても、自然災害に対する安全・安心の確保に向けた事業の必要性が高まっていること、地域からも治水対策の進捗を望まれていることから、本事業の必要性に変わりはない。

事業の進捗の見込み

- 淀川水系神崎川下流ブロック河川整備計画（H27年2月策定）及び淀川水系神崎川ブロック河川整備計画（H30年7月改定）、大阪府都市整備中期計画（R3年3月策定）に位置付けて、事業を進めており、令和2年度末で、事業の進捗率は41%である。これまでも、河道改修を推進し、治水安全度の向上に努めるなど、着実に成果を上げており、早期完成を目指し、引き続き事業を継続することが妥当である。

コスト縮減や代替案等の可能性

- 河川整備計画に基づく整備を進めるにあたって、残土の処分方法や護岸補強の工法選定等において十分な経済比較を行い、コスト縮減可能・効率的な手法で事業を実施している。



事業の継続

・ 令和3年度 第3回 大阪府河川整備審議会【資料1-2 淀川水系神崎川河川改修事業の事業評価について】におきまして、委員の意見を受けて、以下のとおり修正を行いました。

対照表

修正箇所	修正前	修正後
6ページ	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 治水施設の整備水準を超える津波や高潮・洪水などに対しては、人命を守ることを最優先に、「防ぐ」施策を着実にすすめつつ、「逃げる」、「凌ぐ」施策の強化により対応します。なお、「逃げる」施策の推進にあたり、緊急時の河川防災情報の提供など、ソフト対策の充実を図っています。 ➤ 大阪府では府民の避難行動支援のため、地域の特性を踏まえた洪水リスクの周知※2や河川カメラ等によるリアルタイムの情報発信を行っていますので、市・区役所の避難情報などと併せ、避難行動に役立ててください。 <p>※1: 気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会 https://www.milt.go.jp/river/shinngikai_blog/shaseishin/kasenbunkaka/shouinkai/kikouhendou_suigai/index.html</p> <p>※2: 大阪府 洪水浸水想定区域図 http://www.pref.Osaka.lg.jp/kasenseibi/keikaku/kozuishinso.html</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 治水施設の整備水準を超える津波や高潮・洪水などに対しては、人命を守ることを最優先に、「防ぐ」施策を着実にすすめつつ、「逃げる」、「凌ぐ」※2施策の強化により対応します。なお、「逃げる」施策の推進にあたり、緊急時の河川防災情報の提供など、ソフト対策の充実を図っています。 ➤ 大阪府では府民の避難行動支援のため、地域の特性を踏まえた洪水リスクの周知※3や河川カメラ等によるリアルタイムの情報発信を行っていますので、市・区役所の避難情報などと併せ、避難行動に役立ててください。 <p>※1: 気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会 https://www.milt.go.jp/river/shinngikai_blog/shaseishin/kasenbunkaka/shouinkai/kikouhendou_suigai/index.html</p> <p>※2: 「凌ぐ」施策として、安威川・神崎川流域ではため池の治水活用により流出抑制を図っております(淀川水系神崎川ブロック河川整備計画)。 https://www.pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/keikaku/yodokihonseibi.html</p> <p>※3: 大阪府 洪水浸水想定区域図 http://www.pref.Osaka.lg.jp/kasenseibi/keikaku/kozuishinso.html</p>

・ 令和3年度 第3回 大阪府河川整備審議会【資料1-2 淀川水系神崎川河川改修事業の事業評価について】におきまして、委員の意見を受けて、以下のとおり修正を行いました。

対照表

修正箇所	修正前	修正後
12ページ	<p>➤ 神崎川では「広域タイムライン※1」として『神崎川流域洪水タイムライン』を令和3年9月に策定しました。また、地元自治体と連携してワークショップ等を実施し、住民が災害時に適切に行動してもらうため、事前にとるべき行動を時系列に整理する「コミュニティ(地域)タイムライン※2」の作成支援を進めていきます。</p> <p>※1: 広域タイムライン: 比較的大きな流域を対象とし、大阪府や市町村、国に加え、報道機関、ライフライン事業者、鉄道事業者など多くの防災機関の防災行動を記載し、主に国や大阪府が主体となり作成する流域タイムライン</p> <p>※2: コミュニティ(地域)タイムライン: 自治会や小学校区など小さな区域を対象とし、住民や自主防災組織などの防災行動を記載し、主に市町村と地域や住民と一緒に作成する地域のタイムライン</p> <p>➤ また、ホームページ「大阪府河川カメラ※3」より、大阪府管理河川の主な地点における河川の増水状況などがリアルタイムで確認できるカメラ画像情報を提供しています。神崎川では、三国地点等において河川カメラを設置しており、河川状況がホームページから確認できます。</p> <p>➤ さらに、ホームページ「おおさか防災ネット※4」より、河川の氾濫や浸水に対して、流域関係市町のリスクや避難情報とともに、リアルタイムの雨量・水位情報等を提供しています。</p> <p>※3: 大阪府河川カメラHP http://www.osaka-pref-rivercam.info/ ※4: おおさか防災ネットHP http://www.osaka-bousai.net/pref/index.html</p>	<p>➤ 神崎川では「広域タイムライン※1(防災行動計画)」として『神崎川流域洪水タイムライン』を令和3年9月に策定しました※2。また、地元自治体と連携してワークショップ等を実施し、住民が災害時に適切に行動してもらうため、事前にとるべき行動を時系列に整理する「コミュニティ(地域)タイムライン※3」の作成支援を進めていきます。</p> <p>※1: 広域タイムライン: 比較的大きな流域を対象とし、大阪府や市町村、国に加え、報道機関、ライフライン事業者、鉄道事業者など多くの防災機関の防災行動を記載し、主に国や大阪府が主体となり作成する流域タイムライン</p> <p>※2: おおさかタイムライン防災プロジェクトHP https://www.pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/osakatimelineproject/index.html</p> <p>※3: コミュニティ(地域)タイムライン: 自治会や小学校区など小さな区域を対象とし、住民や自主防災組織などの防災行動を記載し、主に市町村と地域や住民と一緒に作成する地域のタイムライン</p> <p>➤ また、ホームページ「大阪府河川カメラ※4」より、大阪府管理河川の主な地点における河川の増水状況などがリアルタイムで確認できるカメラ画像情報を提供しています。神崎川では、三国地点等において河川カメラを設置しており、河川状況がホームページから確認できます。</p> <p>➤ さらに、ホームページ「おおさか防災ネット※5」より、河川の氾濫や浸水に対して、流域関係市町のリスクや避難情報とともに、リアルタイムの雨量・水位情報等を提供しています。</p> <p>※4: 大阪府河川カメラHP http://www.osaka-pref-rivercam.info/ ※5: おおさか防災ネットHP http://www.osaka-bousai.net/pref/index.html</p>